

事業所名：グループホーム宝の里

目標達成計画

作成日：令和 6 年 12 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	入居者様・職員も理念である笑顔で居られるような、支援体制作りと共に認知症ケアの質の向上に努める。	理念に基づき、協力し合える関係の実践と個々の介護技術の向上に努める。	ミーティングや運営推進会議等により、その都度、課題を抽出し具体化を解決案を出し、実践していく。	12ヶ月
2	27	個別ケアの記録に理解しにくい記載がある。	職員の記録の書き方の統一を図る。	職員会議において、書き方の研修を行う。申送り事項やケース記録に目を通す。	12ヶ月
3	35	火災や地震の災害時、昼は職員が居るが、夜は夜勤者が1人の為、不安である。	夜勤時は、皆様ベッドで休まれており、自力歩行出来る方は、数名です。安全に避難できる様に、訓練を行う。	皆で話し合い、マニュアル化していく。連絡網を活用して使用出来るように、訓練していく。	6ヶ月
4	36	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保を行う。	一人ひとりに合った声掛けを行う。大きな声で声掛けしない。	トイレ誘導時等声掛けに注意し、プライバシーに十分配慮していく。	6ヶ月
5	39	その日の天候や気温の変化等による衣類の確認を行う。食べこぼし等による汚れの確認を行う。	一人ひとりの特徴を把握し、その日に適した衣類を提供する。汚れがあった場合は声掛けを行い、取り替えて行く。	厚着している入居者様には、声掛け行い脱いで頂く。汚れている時は、声掛けし直ぐに着替えて頂く。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。